研修プログラム

訪問先情報

展示会出展者リスト

6）成果の確認

a. 研修報告書

研修生は研修中の所見や考察について報告書を作成し、研修の実施記録を残した。また、日本滞在中に共同でグループ報告書を作成し、帰国後に個別報告書を提出することとした。併せてアンケートにより、研修への満足度や意見の聞き取りをした。

b. アクションプラン

帰国後に具体的にどういった活動を実践するか、報告書と合わせて作成し、帰国後に所属先等での報告を義務付けた。

c. 連携強化会議での発表

第 2 回連携強化会議に参加した研修生は、研修成果の報告を行った。研修報告書やアクションプランの詳細は別冊の事業実施報告書資料編に記載する。

(2) 過年度研修生調査

平成 25 年から平成 30 年に同様の研修に参加した研修生の現在の役職について、以下に示す。合計 111 名中、退職等で連絡が取れない者は 20 名（18%）、研修参加時から役職が上がった者は 23 名（21%）であった。なお、役職が上がったかは役員・部長等になったかどうかで判断した。一方で、役員・部長等は持ち回りである場合も多く、一定期間ごとに役員・部長等でなくなる場合もありうる。

No.	参加年度	No.	国	z	研修時の所属先	研修時の役職	2020 年 2 月現在の所属先	2020 年 2 月現在の役職	備考
1	平成 25	1	ブラジル	中堅リーダー	インテグラーダ農協	副理事長	退職	ー	
2	平成 25	2	ブラジル	中堅リーダー	南伯マリリア農協	役員	南伯マリリア農協	組合員	
3	平成 25	3	ブラジル	中堅リーダー	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会長・広報担当	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	役員（書記）	
4	平成 25	4	ブラジル	中堅リーダー	サンパウロ州柿生産者協会 APPC	組合員	APPC 農協	柑橘生産部長	2012 年に農協設立
5	平成 25	5	ブラジル	中堅リーダー	トメアス農協 CAMTA	組合員	トメアス農協 CAMTA	組合員	
6	平成 25	6	ブラジル	品質管理	コパセントロ農協 Copacentro	役員・畜産技術者	農協倒産	生産者	2019 年に農協倒産
7	平成 25	7	ブラジル	品質管理	サンパウロ州柿生産者協会 APPC	職員・規格品質管理	退職	生産者	
8	平成 25	8	ブラジル	品質管理	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員・催事担当	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員・催事担当	
9	平成 25	9	ブラジル	品質管理	イビウナ農協 CAISP	職員・農業分析官	退職	農薬会社	
10	平成 25	10	ブラジル	女性部	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員・催事担当	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員・催事担当	
11	平成 25	11	ブラジル	女性部	サンフジ農産加工・製造協同組合	組合長	サンジョアキン農協 SANJO	女性部長	組織解散
12	平成 25	12	ブラジル	女性部	ラーモス日伯文化協会 ACBJ	役員・広報	ラーモス日伯文化協会 ACBJ	会員	
13	平成 25	13	ブラジル	女性部	インテグラーダ農協	青年・女性部	退職	ー	
14	平成 25	14	アルゼンチン	中堅リーダー	ハルディンアメリカマテ茶生産者協同組合	組合員	ハルディンアメリカ生産者組合	組合員（J-AGRO アルゼンチン代表）	組織名変更
15	平成 25	15	アルゼンチン	品質管理	ハルディンアメリカマテ茶生産者協同組合	組合員	ハルディンアメリカ生産者組合	組合員	組織名変更
16	平成 25	16	アルゼンチン	女性部	旧リオネグロ・コマウエ日本人会	会員・豆腐生産者	ー	ー	連絡なし
17	平成 25	17	パラグアイ	中堅リーダー	パラグアイ日系農協中央会	参事	パラグアイ日系農協中央会	参事（J-AGRO パラグアイ代表）	
18	平成 25	18	パラグアイ	女性部	イグアス日本人会婦人会	部長	イグアス日本人会婦人部	部員	
19	平成 25	19	ボリビア	品質管理	サンフアン農協 CAISY	職員・倉庫長	サンフアン農協 CAISY	職員・倉庫長	
20	平成 25	20	ボリビア	品質管理	コロニアオキナワ農協 CAICO	職員・品質管理	コロニアオキナワ農協 CAICO	役員（穀物品質管理部長）	
21	平成 25	21	ボリビア	女性部	コロニアオキナワ連合婦人会	役員（書記）	退職	レストラン勤務	
22	平成 26	1	ブラジル	中核リーダー	コパセントロ農協 Copacentro	理事	退職		
23	平成 26	2	ブラジル	中核リーダー	モジダスクルーゼス農村組合	農業技師	退職	生産者	
24	平成 26	3	ブラジル	中核リーダー	カッポンボニート農協 CACB	組合員	カッポンボニート農協 CACB	組合員	
25	平成 26	4	ブラジル	中核リーダー	トメアス農協 CAMTA	輸出部門補佐	トメアス農協	広報・秘書	
26	平成 26	5	ブラジル	品質管理	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	参事	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	参事	
27	平成 26	6	ブラジル	品質管理	JATAK 農業技術普及交流センターIPTDA	組合員	JATAK 農業技術普及交流センターIPTDA	組合員・青年部長	
28	平成 26	7	ブラジル	品質管理	サンパウロ州柿生産者協会 APPC	組合員	退職		
29	平成 26	8	ブラジル	品質管理	イビウナ農協 CAISP	組合員	イビウナ農協 CAISP	組合員	
30	平成 26	9	ブラジル	品質管理	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員	退職	サンロッキ市でアグリツーリズム	
31	平成 26	10	ブラジル	女性部	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員・秘書	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員	

32	平成 26	11	ブラジル	女性部	トメアス農協 CAMTA	組合員	トメアス農協 CAMTA	組合員	
33	平成 26	12	ブラジル	女性部	サンフジ農産加工・製造協同組合	財務部長	サンジョアキン農協 SANJO	女性部	組織解散
34	平成 26	13	アルゼンチン	中核リーダー	ハルディンアメリカマテ茶生産者協同組合	組合員	ハルディンアメリカ生産者組合	組合員	組織名変更
35	平成 26	14	アルゼンチン	女性部	ハルディンアメリカマテ茶生産者協同組合	組合員	退職	日本へ出稼ぎ	
36	平成 26	15	パラグアイ	品質管理	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	組合員	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	役員	
37	平成 26	16	パラグアイ	女性部	イグアス日本人会婦人会	会員	イグアス日本人会	会員	
38	平成 26	17	ボリビア	中核リーダー	サンフアン農協 CAISY	運営補佐	退職	日本へ出稼ぎ	
39	平成 26	18	ボリビア	女性部	サンフアン連合婦人会	会計担当	サンフアン連合婦人会	会員	
40	平成 27	1	ブラジル	中核リーダー	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	組合長	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	役員	
41	平成 27	2	ブラジル	中核リーダー	カッポンポニート農協	組合員	カッポンポニート農協	組合員	
42	平成 27	3	ブラジル	女性部	ブラジル農協婦人部連合会	会員	ブラジル農協婦人部連合会	会員・副支部長	
43	平成 27	4	ブラジル	女性部	ラーモス日伯文化協会 ACBJ	会員	ラーモス日伯文化協会 ACBJ	役員（秘書）	
44	平成 27	5	ブラジル	女性部	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	組合員	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	組合員	
45	平成 27	6	ブラジル	女性部	ジュアゼイロ農協	組合員	ジュアゼイロ農協	役員	
46	平成 27	7	アルゼンチン	中核リーダー	ハルディンアメリカマテ茶生産者協同組合	組合員	ハルディンアメリカ生産者組合	組合長	組織名変更
47	平成 27	8	パラグアイ	中核リーダー	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	副参事	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	参事	
48	平成 27	9	パラグアイ	女性部	イグアス日本人会婦人会	会員	イグアス日本人会婦人部	会員	
49	平成 27	10	ボリビア	中核リーダー	サンフアン農協 CAISY	組合員	サンフアン農協 CAISY	組合員	
50	平成 27	11	ボリビア	中核リーダー	コロニアオキナワ農協 CAICO	組合員	コロニアオキナワ農協 CAICO	役員（教育担当）	
51	平成 27	12	ボリビア	女性部	サンフアン連合婦人会	会員	サンフアン連合婦人会	役員	
52	平成 28	1	ブラジル	付加価値向上	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	組合員	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	役員（監査役）	
53	平成 28	2	ブラジル	付加価値向上	グアタパラ農協 COAG	組合員	グアタパラ農協 COAG	組合員	
54	平成 28	3	ブラジル	付加価値向上	イビウナ農協 CAISP	職員・生産管理	イビウナ農協 CAISP	市場分析部長	
55	平成 28	4	ブラジル	付加価値向上	モジダスクルーゼス農村組合	農業普及員	モジダスクルーゼス農村組合	農業普及員	
56	平成 28	5	ブラジル	中核リーダー	クリチバノス市日伯スポーツ文化協会 ACEC	会員	クリチバーノス市日伯スポーツ文化協会 ACEC	会員	Rika Agropecuaria 社農業技師
57	平成 28	6	ブラジル	中核リーダー	プロミソン日伯文化協会	会長	プロミソン日伯文化協会	会長	農場経営者
58	平成 28	7	ブラジル	中核リーダー	サンジョアキン農協 SANJO	組合員	サンジョアキン農協 SANJO	組合員	農牧開発研究機関 EPAGRI 職員
59	平成 28	8	ブラジル	中核リーダー	トメアス農協 CAMTA	組合員	トメアス農協 CAMTA	組合員	
60	平成 28	9	ブラジル	女性部	サンフジ農産加工・製造協同組合	生産管理	サンジョアキン農協女性部	女性部	組織解散
61	平成 28	10	ブラジル	女性部	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	組合員	サンミゲールアルカンジョ農協 SMA	組合員	農村観光協会会長
62	平成 28	11	ブラジル	女性部	スールミナス農協 CASM	組合員	スールミナス農協 CASM	監査役	
63	平成 28	12	アルゼンチン	付加価値向上	メルコフロール花卉生産者組合	理事	メルコフロール花卉生産者組合	理事	
64	平成 28	13	パラグアイ	付加価値向上	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	組合員	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	組合員・青年部長	
65	平成 28	14	パラグアイ	中核リーダー	ピラポ農協	職員・経理	ピラポ農協	職員・経理	
66	平成 28	15	パラグアイ	女性部	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	組合員	退職	日本へ出稼ぎ	
67	平成 28	16	ボリビア	付加価値向上	サンフアン農協 CAISY	サンタクルス支所所長	サンフアン農協 CAISY	サンタクルス支所所長	
68	平成 28	17	ボリビア	女性部	コロニアオキナワ連合婦人会	役員	コロニアオキナワ連合婦人会	役員	
69	平成 29	1	ブラジル	付加価値向上	ラーモス日伯文化協会 ACBJ	理事	ラーモス日伯文化協会 ACBJ	会員（2020 年度桜まつり委員会）	生産者
70	平成 29	2	ブラジル	付加価値向上	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	役員	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	副会長	
71	平成 29	3	ブラジル	付加価値向上	APPC 農協	組合員	APPC 農協	職員	
72	平成 29	4	ブラジル	付加価値向上	モジダスクルーゼス農村組合	役員	モジダスクルーゼス農村組合	役員	
73	平成 29	5	ブラジル	付加価値向上	ロライマ日伯協会	会員	ロライマ日伯協会	役員	SEAPA（州農畜産局）職員
74	平成 29	6	ブラジル	中核リーダー	バルゼアアレグレ農協 CAMVA	組合員	バルゼアアレグレ農協 CAMVA	組合員	
75	平成 29	7	ブラジル	中核リーダー	弓場農場	加工担当	弓場農場	品質管理担当	
76	平成 29	8	ブラジル	中核リーダー	APPC 農協	組合員	APPC 農協	組合員、APPC 婦人部役員	
77	平成 29	9	ブラジル	中核リーダー	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	参事	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	参事	
78	平成 29	10	ブラジル	中核リーダー	おばあ茶ん	職員	退職		
79	平成 29	11	ブラジル	中核リーダー	トメアス農協 CAMTA	組合員	トメアス農協 CAMTA	CAMTA 組合員	ACTA(トメアス文化農業振興協会）副会長
80	平成 29	12	パラグアイ	付加価値向上	ピラポ農協	職員	退職	生産者	
81	平成 29	13	パラグアイ	中核リーダー	コルメナアスンセーナ農協 CAICA	組合員	前原養鶏場	牧場管理補佐	
82	平成 29	14	ボリビア	付加価値向上	サンフアン農協 CAISY	組合員	サンフアン農協 CAISY	外部監査員	
83	平成 29	15	ボリビア	中核リーダー	サンフアン農協 CAISY	職員・サンタクルス支所次長	サンフアン農協 CAISY	職員・サンタクルス支所次長	
84	平成 30	1	ブラジル	若手育成	ウニオンカストレンセ農協	組合員・総務部長	ウニオンカストレンセ農協	穀物部長	パラナ州日伯アリアンサ文化協会副会長
85	平成 30	2	ブラジル	若手育成	バルゼアアレグレ農協 CAMVA	組合員	バルゼアアレグレ農協 CAMVA	組合員	
86	平成 30	3	ブラジル	若手育成	サンジョアキン農協 SANJO	職員	退職		
87	平成 30	4	ブラジル	若手育成	パラナ州日伯アリアンサ文化協会	会員	パラナ州日伯アリアンサ文化協会	会員	きのこ・野菜の個人生産者
88	平成 30	5	ブラジル	若手育成	ノバアリアンサ農協 COANA	監査役	ノバアリアンサ農協 COANA	組合員	
89	平成 30	6	ブラジル	若手育成	バストス地域鶏卵生産者協会 APROBARE	会長	バストス地域鶏卵生産者協会 APROBARE	会長	
90	平成 30	7	ブラジル	若手育成	サンタイザベル・サントアントニオドタウア組合 SINPRIZ	組合員	サンタイザベル・サントアントニオドタウア組合	組合員、青年部部長	
91	平成 30	8	ブラジル	若手育成	カッポンポニート農協 CACB	組合員	カッポンポニート農協 CACB	組合員	
92	平成 30	9	ブラジル	若手育成	レジストロ地域農業生産者組合	組合員	レジストロ地域農業生産者組合	組合員	
93	平成 30	10	ブラジル	若手育成	モジダスクルーゼス農村組合	組合員	モジダスクルーゼス農村組合	組合員	
94	平成 30	11	ブラジル	若手育成	コパセントロ農協 Copacentro	組合員	農協倒産	生産者	
95	平成 30	12	ブラジル	若手育成	アダマンチーナ文化体育協会	農業技師	アダマンチナ農協 CAMDA	生産資材販売担当	
96	平成 30	13	ブラジル	若手育成	JATAK 農業技術普及交流センターIPTDA	会員	JATAK 農業技術普及交流センターIPTDA	会員	
97	平成 30	14	ブラジル	若手育成	モジダスクルーゼス農村組合	組合員	モジダスクルーゼス農村組合	組合員	
98	平成 30	15	ブラジル	若手育成	トランスアマゾニカ農協	組合員	トランスアマゾニカ農協	組合員	
99	平成 30	16	ブラジル	若手育成	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員	
100	平成 30	17	ブラジル	女性部	APPC 農協女性部	組合員	APPC 農協女性部	組合員・新商品開発	
101	平成 30	18	ブラジル	女性部	レジストロ日伯文化協会	地域活性化委員	レジストロ日伯文化協会	地域活性化委員	
102	平成 30	19	ブラジル	女性部	コパセントロ農協 Copacentro	役員	農協倒産	生産者	
103	平成 30	20	ブラジル	女性部	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	役員（経理）	
104	平成 30	21	ブラジル	女性部	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	会員	ブラジル農協婦人部連合会 ADESC	役員（監査役）	
105	平成 30	22	アルゼンチン	若手育成	メルコフロール花卉生産者組合	組合員	メルコフロール花卉生産者組合	組合員	
106	平成 30	23	アルゼンチン	女性部	メルコフロール花卉生産者組合	組合員	メルコフロール花卉生産者組合	組合員	
107	平成 30	24	パラグアイ	若手育成	ラパス農協	職員	ラパス農協	職員	
108	平成 30	25	パラグアイ	女性部	ラパス日本人会婦人会	会員	ラパス日本人会婦人部	会員	
109	平成 30	26	ボリビア	若手育成	コロニアオキナワ農協 CAICO	組合員	退職	建設会社	
110	平成 30	27	ボリビア	若手育成	サンフアン農協 CAISY	組合員	サンフアン農協 CAISY	組合員	
111	平成 30	28	ボリビア	女性部	コロニアオキナワ連合婦人会	会員	コロニアオキナワ連合婦人会	会員	

退職等で連絡が取れない者	研修参加時から役職が上がった者
18.0%	20.7%

2.① 若手農業者等の育成研修（日本への招へい）

農業・食産業の組織やビジネスを牽引する役割を担う次世代リーダーとして見込まれる者を対象に、農産物の高付加価値化、6 次産業化等について座学と実習で学び、日本国内における農業関係者との交流を深める研修を実施した。

コース	日程	研修生
(1) アグリビジネス研修「有効活用」	令和元年 9 月 22 日～10 月 17 日	8 名（ブラジル 7 名、アルゼンチン 1 名）
(2) アグリビジネス研修「農業ツール」	令和元年 10 月 28 日～11 月 23 日	9 名（ブラジル 5 名、パラグアイ 3 名、ボリビア 1 名）
(3) 技術研修「土づくり」	令和元年 10 月 5 日～10 月 30 日	3 名（ブラジル 1 名、パラグアイ 2 名）
		合計 20 名（ブラジル 13 名、アルゼンチン 1 名、パラグアイ 5 名、ボリビア 1 名）

(1) アグリビジネス研修「有効活用」

1) 基本情報

日程	令和元年 9 月 22 日～10 月 17 日（計 26 日間）
場所	東京都、埼玉県、神奈川県、山梨県、千葉県、静岡県、広島県
研修生	8 名（ブラジル 7 名、アルゼンチン 1 名）
目的	■農業・食産業の組織を牽引していく次世代リーダー、特に新規ビジネスを始める意欲のある者を対象として、農産物の規格外品の有効活用の取組を学び、付加価値を付けた販売に繋げる方法を学ぶ。 ■展示会視察や企業訪問を通した交流によって、農業分野における最新技術・新製品について学び、日本の技術・製品を活用した新たなアグリビジネスの立ち上げを目指す。

2) 研修生

No.	性別・年代	国	組織	業務
1	女性 50 代	ブラジル	AMV コンサルティング／ サンフランシスコバレー文化スポーツ協会	技術・販売部長
2	男性 10 代	ブラジル	アグロコマーシャル清水 3K	青果物販売
3	男性 20 代	ブラジル	スルマットグロセンセ農協	職員・新規事業
4	女性 20 代	ブラジル	イビウナ農協	職員・品質管理
5	女性 20 代	ブラジル	APPC 農協	組合員
6	女性 20 代	ブラジル	南伯ピラールドスル農協	組合員
7	男性 50 代	ブラジル	ポンタグロセンセ農協	組合長
8	男性 20 代	アルゼンチン	ハルディンアメリカ生産者組合	組合員

3) 日程

日数	日付	曜	内容	場所
1	9 月 22 日	日	南米出発	
2	9 月 23 日	月	機内	
3	9 月 24 日	火	日本到着	東京
4	9 月 25 日	水	オリエンテーション	東京
5	9 月 26 日	木	古代蓮の里（田んぼアート）、はせがわ農園（梨農園・6 次産業）、道の駅おかべ（直売所）、ティーエス（長ネギ農場）	埼玉
6	9 月 27 日	金	旬八青果（規格外野菜）、アンテナショップ（特産物販売）、千疋屋（高級フルーツ）	東京
7	9 月 28 日	土	広島へ移動	広島
8	9 月 29 日	日	休日	広島
9	9 月 30 日	月	ふぞろいプロジェクト（規格外農産物の販売活動） フレスタ三次店、トレッタ三次、三次ワイナリー	広島

10	10 月 1 日	火	茂田くま加工所（農産物加工）、三次市役所（市長表敬訪問）、こだま食品（乾燥野菜）	広島
11	10 月 2 日	水	東京へ移動、浜松ベジタブル（農産物粉末化）	静岡
12	10 月 3 日	木	食品開発展 2019（日本企業とのマッチング）	東京
13	10 月 4 日	金	グリーンメッセージ（カット野菜工場）、カインズホーム（農業資材店）	神奈川
14	10 月 5 日	土	休日	東京
15	10 月 6 日	日	休日	東京
16	10 月 7 日	月	住友ベークライト（鮮度保持資材）、アルフォ（食品リサイクル） 豊通食料（穀物輸入）	東京
17	10 月 8 日	火	大気社（植物工場）、千葉へ移動	東京
18	10 月 9 日	水	農業 Week（国際次世代農業 EXPO）※	千葉
19	10 月 10 日	木	農業 Week（国際次世代農業 EXPO）、鎌ヶ谷房の駅（特産品販売）※	千葉
20	10 月 11 日	金	第 1 回中南米アグリビジネスセミナー（日本企業とのマッチング）※	東京
21	10 月 12 日	土	山梨へ移動（※合同）	山梨
22	10 月 13 日	日	広楽園･中込農園（観光農園）、桑郷・国土防災技術（フルボ酸実用現場)※	山梨
23	10 月 14 日	月	休日	東京
24	10 月 15 日	火	研修総括	東京
25	10 月 16 日	水	日本出発	
26	10 月 17 日	木	南米帰着	

※若手農業者等の育成研修「技術研修：土づくり」と合同で実施

規格外野菜販売

野菜・果物の粉末化加工

食品開発展の訪問

4）研修の成果・考察

- 食品開発展と農業Week（国際次世代農業EXPO）という2つの展示会を訪問し、農業・食産業分野の日本企業とのビジネスマッチングを図った。研修の目的のひとつを、日本企業とのアグリビジネス創出と明確にしたことで、より日本企業との交流に対する研修生の意識が明確になり、積極的に日本企業と会話する姿勢が見られた。
- 具体的には、穀物商社との間でそば（実）に関する商談をして帰国後に生産を開始することになった事例、抗カビパッケージを扱う企業の商品を取り寄せて帰国後にサンプル試験を実施した事例や、青果物の鮮度保持資材のサンプル試験の実施（予定）等が挙げられる。いずれも将来的なビジネスに発展する可能性があり、事務局としてもフォローしていく必要がある。
- さらに、本年度の新たな取組として、研修期間中に第1回中南米アグリビジネスセミナーを開催し、南米の日系農業者とのビジネスに関心を有する日本企業4社を招待して、ビジネスマッチングを行った。
- 第1回連携強化会議の場で上がった「農産物の有効活用」というテーマにおいても、規格外農産物の販売に取り組む企業やNPO（ふぞろいプロジェクト）の取組、道の駅における直売所を視察し、規格外の農産物をいかに消費者に販売していくか、様々な可能性を学ぶことができた。さらに、カット野菜、野菜・果物の乾燥・粉末化に取り組む企業を視察し、今後南米でも広がっていくであろう新たな市場・ニーズについて検討することができた。

5）研修生による報告書

a. 有益であった点・特に印象に残った点

- 食品の鮮度を保つパッケージはとても重要であった。ミクロン単位の微小な穴の数を変え、青果物の呼吸を調整し鮮度を保つMA包装や、エチレンガスを分解する鮮度保持資材、食品開発展で見たカビの繁殖を抑制するパッケージなどは、農産物の流通に役立つ可能性がある。
- 見学先や展示会などで見た規格外の農産物を利用し粉末商品へと変える開発技術は、ブラジルでも新たな市場として成立する可能性を感じた。廃棄ロスを減らし食品の栄養価を活用できる良い事業である。
- 様々な企業が残さを飼料などに加工してリサイクルしており、資源の有効活用方法の新たな可能性を見ることができた。ブラジルの廃棄量はとても多いので、ブラジル市場でも検討できる。
- 農産物の有効活用方法として粉末化や乾燥、カットサラダやジャム加工、パン・ケーキ・クッキーへの加工、食品残さを畜産用飼料として利用する方法を知ることができた。

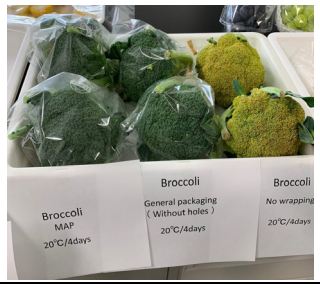
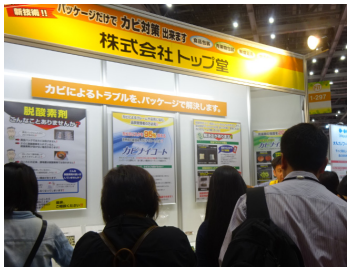
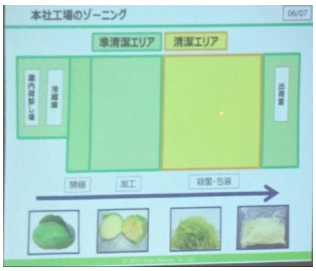
b. 南米と日本とのビジネスの可能性

- 農作物の鮮度をより長く保てる商品を取り扱う企業との取引の可能性。
- 土壌改良剤を扱う企業が製造する有用微生物を利用し、農薬散布を減らすことができるか大豆畑にテストする。
- そばの生産を開始し、将来的に今回意見交換をした穀物商社にそばを販売していく戦略を検討する。
- 食品乾燥機メーカーの１社は既にブラジルへ販売実績があり、同社の乾燥機は低圧で乾燥させ食材の水分だけを抜き取る。別のメーカーの乾燥機はドライフルーツだけでなく、セミドライや砂糖漬けにすることもできる。加工の手段として食品乾燥機の購入を検討する。

c. 帰国後の所属先・地域での具体的な展望

- 「道の駅」の流通システムや形態についてのノウハウを「輸入」し、「道の駅」プロジェクトを計画し、地域の市長に提案したい。
- 地域で観光客を受け入れて収穫体験をさせる観光農園を始めることを検討したい。
- カット野菜施設の工夫（粘着ロールや手洗い用タイマーなどの衛生管理、野菜の洗浄水、残さの飼料工場への販売）を組合の施設に活用したい。
- 直売所を組合に導入し、マテ茶だけでなく生産者の商品を置くことで彼らの収入安定を図り、マテ茶だけに依存した生活を逸脱できるようにする。それ以外にも食事スペースも併設し、組合で取り扱っているキャッサバでん粉に付加価値を付けた商品（チパ）の販売や、観光客がマテ茶を試飲できるスペース、組合のジャムとトーストなどを軽食や朝食として提供できる場にする。

d. 所属先に見せて実践したい写真 1 枚

(1) 生産者が直接商品を消費者・観光客に販売できる道の駅（農産物直売所） 	(2) 青果物の呼吸を調節する鮮度保持技術（MA 包装） 	(3) カビ対策パッケージの活用を検討 
(4) カット野菜工場の徹底的な衛生管理と施設構造（ゾーニング） 	(5) 観光客に収穫体験をさせ、消費者と生産者の繋がりを作る観光農園 	(6) 長期保存し、時期ずらし販売に活用できる鮮度保持資材
(7) そばの日本への輸出のため穀物商社を訪問し、そば生産を検討 	(8) インスリン分泌低下を改善することで糖尿病対策になる桑の葉茶 	

(2) アグリビジネス研修「農業ツール」

1) 基本情報

期間	令和元年 10 月 28 日～11 月 23 日（計 27 日間）
場所	東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、岩手県、広島県
研修生	9 名 （ブラジル 5 名、パラグアイ 3 名、ボリビア 1 名）
目的	■農業・食産業の組織を牽引していく次世代リーダー、特に新規ビジネスを始める意欲のある者を対象として、日本で活用されている農業分野のツール（資材、機械、パッケージなど）について学ぶ。 ■展示会視察や企業訪問を通した交流によって、農業生産から収穫・選果・加工・流通に関するソリューションや農業分野における最新技術・新製品について学び、日本の技術・製品を活用した新たなアグリビジネスの立ち上げを目指す。

2) 研修生

No.	性別・年代	国	組織	業務
1	男性 30 代	ブラジル	サンタイザベラ・サントアントニオダタウア組合	組合長
2	女性 40 代	ブラジル	トランスアマゾニカ農協	営業部長
3	男性 20 代	ブラジル	ミムラフルーツ／ サンフランシスコバレー文化スポーツ協会	生産マネージャー
4	男性 20 代	ブラジル	J.Watanabe 食品	品質管理
5	女性 40 代	ブラジル	サンジョアキン農協	組合員